

## 次期大会のご案内

## 第64回日本神経化学学会大会（奈良）のお知らせ

2021年9月30日(木)と10月1日(金)の2日間で、奈良県奈良市の奈良県コンベンションセンターにおいて第64回日本神経化学学会大会を開催いたします。当初は同年8月に開催予定のISN/APSN2021との併催の予定でしたが、ISN/APSN大会が2022年に延期となりましたので急遽単独大会での開催を決定いたしました。大会のテーマは「発祥の地からの新しい発信」とさせていただきます。ご承知のように奈良は日本文化の発祥の地であり、医科学の面から見ても興福寺には聖徳太子の遺志を継いだ公的病院とも言える施薬院、悲田院が設立された歴史があり、会場近くにはやはり日本で初めての公開図書館である「芸亭(うんてい)」の史跡がございます。そのような地で最先端の神経化学を議論、発信できることは大会長としてこの上無い喜びです。

新型コロナウイルスは社会のあり方、経済の状況に大きく影響を及ぼし、我々科学コミュニティの活動についても2020年は大きな変動の年となりました。そのような中、第63回大会は初めてのWeb開催で行われ成功裡に終わったことは本会の歴史にも特記されるイベントでした。これを受けて第64回大会をどうするかについては、スタッフとも議論を重ねましたが基本を対面の大会として開催することといたしました。状況の許す限り、本会の特徴である「議論」をたたかわせることを重視したいと考えます。その代わり、今回は2日間のコンパクトなフォーマットで開催し、プログラムとしては通常大会と同等の内容を維持することとしました。一部(海外からの特別講演等)はWebを用いる形も併用いたします。その他各種企画シンポジウム、公募シンポジウム、多分野交流委員会企画講演、若手道場、一般口演、ポスターも通常大会と変わらない形で行いますし、恒例の若手研究者育成セミナーも大会初日(9月30日)に開くべく、現在鋭意準備を行っているところです。これらの最新情報につきましては大会ホームページ(<http://www.jsn2021nara.umin.jp/>)に随時アップしていきますので御確認お願い申し上げます。

一般演題及び若手道場の募集は2021年4月1日～5月31日に行います。奮って演題の登録をお願いいたします。秋の奈良は見所も多く、学会の前後に存分に楽しんで頂けるのではないかと存じます。皆様とお会い出来ることを心待ちにしております。

大会事務局：奈良県立医科大学 解剖学第二講座 e-mail: jsn2021@naramed-u.ac.jp  
 運営事務局：インパクト株式会社 e-mail: jsn2021@impact.co.jp

第64回日本神経化学学会大会 大会長  
 和中 明生

(上記は基本的に新型コロナウイルス感染拡大が定常状態であることを前提としており、状況によっては大会の開催形態の変更もありうることを申し添えます。)